

2 0 2 1 年 度
事 業 報 告 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般社団法人 日本ガス協会

目次

I. 外部環境 (p.3)

II. 重点項目 (p.4~5)

III. 活動報告 (p.6~21)

1. 事業領域における活動報告

2. 会員サービスに関する活動報告

3. 組織基盤に関わる活動報告

IV. 事業報告の付属明細書 (p.22)

I. 外部環境

1. 年度当初の認識

(1) 持続可能社会の実現に向けた機運の高まりを背景としたガス事業への期待

- 低炭素化に向けた取り組みの深化・加速、将来のカーボンニュートラル（脱炭素）社会を見据えたガス業界のポテンシャルの拡大への期待
- ガスの供給及び利用場面における更なるレジリエンス強化への期待
- デジタル技術の利活用によるガス事業の高度化への期待
- 上述の事項を通じた地方創生に資するガス事業者の貢献への期待

(2) 政府におけるガス事業に関連する政策・制度議論の進展

- 第6次エネルギー基本計画の策定、地球温暖化対策計画の見直し等、政策議論の進展
- ガス市場の更なる高度化に向けた制度議論の継続（規制改革実施計画関連テーマ等）
- ガス保安も含めた産業保安規制の見直し

(3) 会員事業者の経営構造変化

- コロナ禍による経営の基盤であるガス販売量への影響の継続や、お客さまの生活/ビジネス様式変化の定着による事業構造の変化
- 2022年導管部門法的分離や事業環境変化への対応としての経営形態多様化

2. 年度内の変化要素

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響や国際情勢等を踏まえたエネルギーの安定供給及び機器サプライチェーン強化の要請

Ⅱ. 重点項目

(1) レジリエンスの強化に向けた対応（安定供給・安全の確保）

- ガス安全高度化計画2030の確実な実行開始をはじめとする保安レベル向上支援を行った
- 安全対策の実績と見通しを踏まえた産業保安規制の見直しの具体化を進めた
- スマート保安官民協議会を受けたスマート保安の具現化を推進した

(2) カーボンニュートラル化に向けた対応

- カーボンニュートラル化に向け「カーボンニュートラルチャレンジ2050アクションプラン」を策定・公表するとともに、カーボンニュートラル委員会を設立する等の協会内体制を整備し、アクションプラン具現化への取り組みに着手した
- 天然ガスの用途拡大、分散型エネルギーシステムなどの普及の支援を通じ、天然ガスシフトや天然ガスの高度利用による着実なCO2削減に貢献した

(3) 地方創生への貢献に向けた対応

- 地域活性化フォーラムや地方部会の会議体等の活動を通じ、地方創生に資する取り組みの情報発信・水平展開手法を強化した
- 地域新価値創出プロジェクトをはじめとした会員事業者による具体的取り組み推進支援を行った

(4) 情報発信・対外活動の充実化

- 会長会見や報道機関によるインタビュー等の機会を通じて、ガス事業の国・社会への貢献や将来に向けたアクションに関する情報を積極的に発信した
- ガス事業に関わる政策・制度議論（エネルギー・環境・レジリエンス政策、ガス事業・保安制度等）へ積極的に関与し、ガス事業の継続的成長に貢献した

(5) 組織基盤の整備・強化

- 会員事業者の経営形態多様化に対応し、また上記（1）～（4）の諸事業活動を効果的に展開するための諸機関・事務局内体制を整備した
- コロナ禍の経験を踏まえ、内外コミュニケーション機会におけるリモート手法の有効活用を行った

(6) 年度内の変化要素への対応

- 給湯器需給逼迫に対し東京オリンピック・パラリンピック選手村の給湯器の活用を行うとともに、エネルギー安定供給に向け、一連の情報収集や行政との連携を適時に実施すべく「ロシア-ウクライナ情勢に伴う原料調達に係る情報連絡本部」を設置した

Ⅲ. 活動報告

1. 事業領域における活動報告

企画領域

(1) エネルギー・環境政策への対応

- 国のエネルギー・環境政策議論において天然ガスをはじめ、メタネーション等の優位性を訴求し、「第6次エネルギー基本計画」、「地球温暖化対策計画」等の各種エネルギー・環境関連政策等の実現に貢献した
- 「カーボンニュートラルチャレンジ2050アクションプラン」を策定・公表するとともに、協会内にカーボンニュートラル委員会、事務局にはカーボンニュートラル推進センターを設置して各種検討を開始した
- 「2050年に向けたガス事業の在り方研究会」での検討を踏まえ設立されたメタネーション推進官民協議会へ参画し、メタネーションの環境価値確立に向けた取り組みを推進した
- GXリーグにおいて参加企業の取り組みが適正に評価される削減目標対象の考え方を訴求する等、カーボンプライシング等の議論への対応を行った
- Web開催された国際ガス連盟（IGU）理事会への参加や、トランジション期における天然ガス・LNGの果たす役割について議論する国際ワーキング活動等の場でアクションプランについて説明を実施した

(2) ガス事業制度議論への対応

- ガス事業に関する関係者の理解促進に向けた積極的な発信を行い、規制改革実施計画における継続フォロー案件対応や、2022年度の導管部門法的分離に合わせた対応等、ガス事業の健全な発展に資する制度議論への対応を行った

(3) 会員事業者の支援

- 会員事業者の適切・適法なガス事業運営に向け、関係法令・制度（二重導管、託送収支の事後評価、行為規制、税務・会計制度、独占禁止法、個人情報保護法、ガス事業法等）に関する周知等を行った
- 事業税の課税方式について、自由化の進展等に伴う公正な環境整備の観点から変更の必要性を関係団体・省庁へ訴求した。その結果、課税方式が一部の事業者を除き一般産業と同等の取扱い等へ変更され、改正内容について会員事業者への周知を行った
- 「ロシア-ウクライナ情勢に伴う原料調達に係る情報連絡本部」の活動の一環として、リスク管理の観点からLNG調達事業者および行政との情報共有の他、会員事業者に対するサイバーセキュリティ対策の周知等、機動的な対応を行った

技術領域

(1) ガス安全高度化計画2030の確実な実行開始をはじめとする保安レベル向上支援

- 2030年の死亡事故ゼロに向けて、会員事業者による製造から消費段階のアクションプランの着実な実行支援を行った
- 製造段階においては、臨時製造机上訓練の実施やLNG受入基地設備指針及びLPG貯槽指針の改定による高経年LNG設備への対応、災害時の作業員の安全確保に向け必要な対策について事業者への周知・共有を行った
- 供給段階においては、自社・他工事事故防止の事業者取り組みや好事例をホームページで公開するとともに、個別事情により残存する要対策ねずみ鑄鉄管の改修や準公的施設の経年管改善に向け、改修マスタープランの策定支援や、掘削することなく腐食度指数を算出する「腐食リスクレベル判定」の普及を実施した
- 消費段階においては、業務用レンジ（オープン部）への立ち消え安全装置搭載の普及促進に向けた対応を実施した
- コロナ禍を踏まえ「技術普及セミナー」をホームページ開催し、安定供給・保安の向上等に資する最新の技術動向を発信した

(2) レジリエンス強化の確実な実施

- 災害時の対応力強化に向け、全国説明会等を通じた会員事業者の好事例の水平展開や会員事業者毎の地震対策状況についてホームページでの公表、地方部会毎の応援受入演習の報告会を実施した
- 耐震化率向上に向けたガス工事進捗向上に資する規制の合理化に向けた働きかけを実施した
- 台風・豪雨対応ノウハウ集を活用した訓練の実施や、経済産業省との情報連絡ルール見直しに向け事業者との意見交換を行った
- サイバーセキュリティ強化に向けた情報連絡訓練の実施や東京オリンピック・パラリンピック開催期間中の供給セキュリティ対策本部の設置等の安定供給対応支援を行った
- 宮城県沖を震源とする地震（5月）や熱海市土砂災害（7月）、福島県沖を震源とする地震（3月）等の災害発生時に災害対策本部を設置し、情報収集などの対応を実施した

(3) 積極的な政策議論への参画を通じた安定供給や保安の維持・向上

- 産業保安基本制度小委員会での認定高度保安実施事業者制度、災害時連携計画や大規模災害時の保安業務のあり方に関する議論へ積極的に参画し、保安の維持向上に努めた
- ガス安全小委員会等への参画を通じ、「ガス関係報告規則に基づく事故報告要件の見直し」、「圧力測定の見直し」等の産業保安規制見直し実現に向け貢献した
- スマートメーターシステムの普及・拡大のため、40年ぶりの検定満期期間延長に向け、国の検討会に参画するとともに、国への働きかけ等を通じ、号数集約を可能とするJIS改正の実現に貢献した
- スマート保安アクションプランの促進に向け国・関係業界等との連携を深めるとともに、「レーザー式ガス検知器」や「樹脂フィルム積層ホース」等の新技術については「ガス工作物等技術基準調査委員会」での評価を基に事業者が導入可能となるよう、技術基準解釈例によらない業界自主基準化に着手した

普及領域

(1) 多面的なアプローチによる都市ガスの役割の拡大

- 第6次エネルギー基本計画、省エネ法、建築物省エネ法、熱量バンド等の国の主要政策議論へ積極的に参画し、国や社会が抱える諸課題解決に対しガス機器・システムが果たす役割を訴求した
- メタネーション技術に関する研究調査及びCCR（Carbon Capture & Reuse）研究会の運営を通じ、メタネーション社会実装に向けた関連企業との関係強化を行った

(2) 会員事業者の支援

- コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会シンポジウムを開催し、脱炭素社会実現に向けた国の政策動向や先導的なエネルギーシステムの事例を共有した
- 2030年の国のCO₂削減目標達成に向け、レジリエンスや地域活性化等の地域課題も踏まえた対策内容を記したパンフレット「G-solution2030」を制作する等、会員事業者と地元行政との連携強化支援に資する取り組みを行った
- 技術賞表彰制度の運営を通じ、技術開発の推進と業界全体の技術レベル向上を図った
- 床暖房・浴室暖房等に係る健康・快適性について、「住宅における良好な温熱環境実現推進フォーラム」等での訴求をはじめ、幅広い発信・周知を行った
- 新型コロナ感染拡大防止の観点から「全国親子クッキングコンテスト」については、レシピを競うコンテスト方式とし、各地区の優勝者のレシピ再現動画をWebで公開した
- リモートツールも活用したZEB事例や燃料転換事例、補助金活用についてのセミナー・説明会を開催し、会員事業者によるガスシステム、ガス機器の普及拡大支援を行った

(3) 関係業界との連携

- 住まいにおけるガスシステムの将来像や価値について、「ウイズガスCLUB」主催の「暮らしの未来シンポジウム2021」をWeb開催し、ガスシステムの省エネ性・環境性、健康・快適性、レジリエンス性等について国や住宅関連業界へ効果的に発信することを通じ、ガス機器・システムの普及拡大を推進した
- 脱炭素化やデジタル化等の新しい潮流を踏まえた会員事業者による事業の進化・探索に資する技術情報を発信するイベント「Gas Innova」において、カーボンニュートラルを推進する業界の最新動向の講演やコロナ禍を踏まえたWeb開催としつつも、リアルタイムで発表者と参加者が相互理解を深めるためにコミュニケーション出来る場を設ける等の工夫を施し、ガス業界の更なるイノベーションを推進した
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響に等による部品供給不足等を受けた給湯器の需給逼迫に対し、国や機器メーカー業界団体等と連携した対応を図った

地方領域

(1) 地方ガス事業の持続的発展に向けた活動の強化

- 会員事業者が自社地域の課題解決に繋がり得るソリューションを自ら考えるための支援活動として、有識者指導による有志参加型の勉強会（地域新価値創出プロジェクト）の開催や有識者指導のもとでの事業化検討（事業化共創サポート）を実施した
- コロナ禍を踏まえWebにて「地域活性化フォーラム」を開催し、自治体など地域内連携を通じた地域活性化を中心テーマに、有識者からの基調講演ならびに先行事例を有する事業者からの事例講演のプログラムを構成し、会員事業者への情報提供・水平展開を行った
- ガス事業者の地域脱炭素化に向けた課題（地元行政との効果的連携方法等）について、「地域脱炭素ロードマップ」に関する説明会を普及部と共催するとともに、地方部会会議体にて課題解決に向けた意見交換や情報提供を実施した
- 会員事業者訪問活動を通じた事業実態の把握や地域活性化・地域脱炭素等の活動の情報収集を行った
- カーボンニュートラルを目指す中で公営ガスがなしうる取り組みの方向性など、公営事業者の関心事項について意見交換を行った
- 高度化事業（設備リース事業）の制度拡充に取り組む全国ガス事業協同組合連絡協議会のサポートや都市ガス事業者賠償責任保険の制度一部見直しによる新プランの創設等、地方ガス事業経営基盤強化に向けた対応を実施した

(2) 地域単位での会員サービス活動充実化への支援

- リモートツールも活用した会員事業者とJGAとの双方向コミュニケーションを充実させるとともに、地方部会を通じた地域単位での会員サービス活動の充実化を支援した

広報領域

(1) 平常時の広報活動

- 時宜を捉えた会長会見の実施、報道機関によるトップ層インタビュー、エネルギー記者会等関係各所との情報交換等による報道各社の理解促進への働きかけや事業者と連携した広報活動、新たなコンセプトワードの導入等を通じて、ガス事業の国・社会への貢献やカーボンニュートラル社会実現に向けたガス業界の取り組みに関する周知・浸透を強化した

(2) 災害時の広報活動

- 的確な災害時広報実施に向けた活動事項の浸透や災害時におけるお客さま向け広報機能向上を目的としたWebでの研修会を開催する等、お客さまの安全・安心や早期復旧につながる正確な情報発信に向けた業界全体の災害時広報の機能向上を図った

(3) 将来世代に向けた広報活動

- 将来を担う子供たちのエネルギーに対する認識・関心向上に向け、新学習指導要領下でのエネルギー授業拡大のための教育関係各所への働きかけやエネルギー授業に関する会員事業者の取り組み支援など、会員事業者とともに教育関係各所との連携を強化した

(4) 2025年大阪・関西万博へのパビリオン出展

- 2050年の脱炭素社会の実現や様々な社会的課題の解決に貢献するガスシステムを来場者に広く発信し、理解を深めることを目的に2025年大阪・関西万博へのパビリオン出展を決定するとともに、協会内に大阪・関西万博推進委員会等を設置する等の体制を整備し、パビリオン出展に向けた準備を進めた

2. 会員サービス活動に関わる活動報告

(1) 北海道部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ガス事業に係る専門知識の習得、事業環境の変化及び経営基盤の強化に資する各種スキルアップ研修を開催した
- 保安人材育成に関する課題の共有及び意見交換並びに自主保安活動に資する事業者共同研修を開催した
- 経営基盤及び保安等のデジタル化に資する人材育成のため、共同研修の開催及び外部研修機関の活用を行った

② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- 天然ガスの普及拡大を図るため、国のエネルギー・環境政策及びレジリエンス強化等に資する天然ガス導入事例等の情報共有を通じ、コージェネ推進等の取り組み意義の水平展開、並びに北海道コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会を核とした自治体等のマインド醸成を行った
- 天然ガスの利用価値浸透・理解増進等を図るため、関係機関と連携した事業（親子クッキングコンテスト等）を実施した
- ガス事業関連の新たなビジネスチャンス創出及び経営力強化等のため、道内異業種分野との連携を促進した
- 地震等大規模災害における情報共有、課題対応、訓練等による災害対応力の強化、事業者の連携強化を行った
- 地域エネルギー事業など地域活性化活動の課題に関する意見交換や事例等の情報提供を通じた事業者の取り組み支援を行った

(2) 東北部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- 経営基盤を支える人材の企画力・業務対応力向上を図るための業務研修を実施するとともに、行政情報・業界動向・業務活動に関する先進的な取り組み事例等共有する業務セミナーを開催した
- 保安人材育成、保安水準向上を図るための保安対策に関する知識を習得する技術力向上研修を実施するとともに、安定供給の確保に資する供給設備に関する座学・実技講習会を開催した

② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- 保安推進グループ会議、技術分科会等を通じた保安関連情報の提供・事件事例研究等の実施や技術普及セミナーの開催等を通じた新技術の紹介・普及を行った
- 非常事態時の応援受入訓練を始め、非常事態における運用要領に基づく調査等の実施や被害状況報告訓練等を通じたJGA-DRESS及びG-Reactの適切な運用に向けた取り組みを行った
- 都市ガス利用の普及拡大を図るため、各県都市ガス協会等との協議を踏まえた全国親子クッキングコンテスト東北地区大会の実施や都市ガスの高度利用に向けた新たな東北コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会の運営を行った
- 各県都市ガス協会等との連携強化や各種会議等における会員と行政機関との情報交流促進、各県の保安技術関係会議における情報提供・意見交換を実施した
- 会員に対する部会活動の概要を周知する会報の発行や会員間及び関係機関との情報交換・連絡ツールを整備した
- 地域エネルギー事業など地域活性化活動の課題に関する意見交換や事例等の情報提供を通じた事業者の取り組み支援を行った

(3) 関東中央部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- 保安人材育成に向け、技術普及支援講習会等における会員ニーズに則した内容や開催方法の見直しを実施した
- WGでの議論を踏まえ事業者ニーズに則した内容での講習会等の実施を通じ、事業基盤強化に向けた人材育成の取り組みを行った

② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- 部会独自の保安向上に向け、関東中央部会の特性に応じ策定した要綱等の円滑な実施による実効性の向上を図るとともにカロリーアップ計画に対する対象事業者支援を行った
- 関東中央部会の特性を踏まえたコージェネ導入勉強会等の実施や分散型エネルギーシステム・エネルギーの地産地消促進のための支援、関係機関と連携した親子クッキングコンテストの実施等を通じ、低・脱炭素化に貢献する天然ガス普及活動を実施した
- 関東中央部会ホームページやリモート手法の活用等により、部会会員に対する迅速・的確な情報提供を行った
- コロナ感染症に対するJGA対応指針を踏まえ、効果的・効率的な部会運営を着実に実施した
- 地域エネルギー事業など地域活性化活動の課題に関する意見交換や事例等の情報提供、部会の特性を踏まえた地域活性化関連情報の提供等による、地方ガス事業者の持続的発展に向けた取り組み支援を行った

(4) 東海北陸部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援機能

- ガス主任技術者試験受験準備研修会や技術普及セミナー、会員事業者開放講座（本支管工事、他工事管理、導管修理、開閉栓、宿直修理、防食管理、等）実施した
- カーボンニュートラル化（天然ガスの高度利用等）に関するスキルアップ研修（ファースト・フォロー）や業務セミナー等を開催した

② 地方部会内共助に向けた企画・実施機能

- 会員事業者や関係省庁に対し、カーボンニュートラル社会実現に向けた業界の取組みを浸透させるため、地方経済産業局・地方環境事務所・地方整備局等からの参加も得て、各種の委員会・協議会を通じて、政策動向・業界の取組み状況の情報共有を行った。
- レジリエンスの強化（安定供給・安全の確保）に向け、情報連絡訓練（台風・豪雨時、サイバー攻撃発生時）や応援受入演習、復旧進捗見える化システム及びJGA-DRESS訓練、会員事業者合同防災訓練、監督官庁合同リエゾン派遣訓練等を実施した
- コーリエネレーション・地域エネルギーシステム協議会（中部・北陸）を通じた自治体への情報発信や補助金説明会（中部・北陸）、親子クッキングコンテスト地区大会（中部・北陸）を開催した
- 地域エネルギー事業など地域活性化活動の課題に関する意見交換や事例等の情報提供を通じ、地域活性化に関する事業者の取組み支援を行った

(5) 近畿部会

①ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- 事業者幹部を対象とした経営セミナーや外部講師の講演による業務セミナー及び事業者の活動に資する特別講演会を開催し、新しい制度や関連情報の説明会・勉強会情報の発信と情報共有を行う等、業務内容・業務遂行の立場に応じた知識と意識の向上支援を行った
- 他地方部会と連携した広域オンライン講演会・講習会の開催や近畿ガス事業協同組合との連携等による講習・研修の充実等、会員の知識・技能向上機会拡大への取り組みを行った

②地方部会内共助に向けた企画・実施

- 台風豪雨時の情報連絡訓練、被害状況報告訓練（被害状況報告システム、G-React）、復旧見える化システム/JGA-DRESS操作訓練等の訓練実施の支援および部会事業者による応援受入演習報告会の開催等の保安向上に資する活動を行った
- 会員事業者相互のチェック・助言による保安レベル向上に向けた取り組み支援である事業者保安巡回の実施や、新技術導入工事の見学会を実施し、事業者間での情報共有を推進した
- 近畿コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会等での自治体との連携強化や、業務委員会等の委員会活動にてガス普及に関する好事例の紹介、親子クッキングコンテスト近畿地区大会や業務事例発表会の開催等を通じ、事業者共助によるガス普及の促進を行った
- 暮らしの未来シンポジウム、Gas Innova、地域活性化フォーラム等における地域活性化や新たな事業展開に資する様々な情報提供、環境省近畿地方環境事務所の政策説明会等、部会の特性を踏まえた地域活性化関連情報の提供等の事業者取り組み支援を行った

(6) 中国・四国部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- 各種技術関連のスキル向上に向けて、事業者主催による研修会を実施した
- 天然ガス普及拡大に資する業務研修、業務セミナーを実施した
- 技術普及セミナー、技術開発普及会議を通じ、新技術・新工法に関する情報提供・普及を図った

② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- 保安・レジリエンスの強化に向け、災害対策検討WGや応援受入演習による災害対策、救援体制の整備を実施するとともに、事例紹介等による経年管対策を推進した
- 天然ガスの普及拡大に向け、中国・四国コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会を通じた自治体等との連携やコージェネレーションの普及促進、関係機関と連携した親子クッキングコンテストを実施した
- セミナーの開催により職員若手層の人的交流を促進した
- 地域エネルギー事業等、地域活性化関連の活動へ取り組むにあたっての課題に関する意見交換や、事例等紹介等を通じた事業者の地域活性化への取り組みの支援を行った

(7) 九州部会

① ガスパーソンとして必要な知識・技術向上の支援

- ガス普及、経営基盤強化に資する人材育成支援の研修やガスボイラの普及に資する提案人材育成研修を実施した
- 事業者が有する「人材開発センター」を活用し、技術研修、講習会を開催した
- 消費機器調査員・内管検査員トレーナー講習会、技術講習会を開催した

② 地方部会内共助に向けた企画・実施

- 事故事例の効果的な情報提供や経年管対策進捗管理等の支援・助言等を通じ、ガス安全高度化計画2030の着実な遂行に向けた保安レベルの向上支援を行った
- 自主保安活動支援による保安基盤強化や災害対応力強化に向けた新要綱・要領の浸透、部会内災害時緊急対応体制の強化、サイバーセキュリティ情報の共有化を行った
- ガス導入拡大事例共有を図る業務推進セミナーの開催や九州コラボ事業の推進、親子クッキングコンテストの実施、高効率ガス機器導入促進を図る九州コージェネレーション・地域エネルギーシステム協議会での自治体との連携強化等を通じ、省エネや快適な暮らしに資するガスシステムの普及を推進した
- 会員事業者の経営形態多様化に伴う部会組織の適切な対応や地域エネルギー事業等の地域活性化活動の課題に関する意見交換や事例等の情報提供を通じた事業者の取り組み支援を行った

3. 組織基盤に関わる活動報告

(1) 機関運営と制度運用

- 新型コロナウイルスの影響が長期化する中においてもWeb等の活用により各機関における議論・合意形成・意思決定機能の担保と効果的な運営を通じ、JGA事業活動の企画・展開を行った
- 2022年4月に設立された導管子会社3社や公営事業者の民営化に伴う入退会手続き等、会員の経営形態多様化への対応も含めた会議体や会員制度の運用・体制整備を行った

(2) 事務局人材施策と業務基盤

- カーボンニュートラルへの課題に対応するための検討体制・事務局組織の見直しを行う等、要員計画を踏まえた事務局内人材施策を検討・実行した
- コロナ禍を踏まえた会員事業者向けの講習会や説明会等の適切な実施に向け、インターネット上でのセミナーツールを導入する等、リモートコミュニケーションの充実化にも資するIT・通信基盤を強化した
- 新たな経費精算システムや会計システムの導入等による効率化を進めるとともに、事務局業務の円滑な遂行を支える総務・経理業務を確実に実施した

(3) 基幹業務

- 会員ニーズや実態に合わせた統計調査を実施するとともに、調査の効率化・充実化に向けた対応を行った
- ガス事業継続に向け、国や自治体の動向や対応方針について会員事業者へ適切に周知するとともに、感染拡大時における各事業者の対応状況や取り組みについての情報収集体制を整備した

IV. 事業報告の附属明細書

明細書に記載すべき事項は特になし。